

## 令和2年度 第28回倉敷ケーブルテレビ番組審議会 議事録

- 1 開催年月日 令和2年3月10日(水)～3月27日(土)
- 2 開催場所 新型コロナウイルス感染防止・拡大抑止のため書面開催
- 3 番組審議委員  
伊東香織 倉敷市長代理／くらしき情報発信課長 森本みどり  
黒田 晋 玉野市長代理／秘書広報課  
片岡聡一 総社市長代理／市政情報課長 難波孝次  
井上正義 倉敷市教育長  
井上峰一 倉敷商工会議所会頭 欠席  
山根一人 玉野商工会議所会頭代理／主査 佐野公康  
大島康弘 児島商工会議所会頭  
清水 男 総社商工会議所会頭  
宗田行弘 倉敷青年会議所理事長  
高田尚志 児島青年会議所理事長

## 4 議 題

### <番組審議>

- ▽大原美術館史～受け継がれる大原DNA～
- ▽共にまちを創る～倉敷の礎を築いた近代建築家#1 薬師寺主計
- ▽その他自主制作番組
- ※資料1 【DVD2枚】

### <報 告>

- ▽2020(R2)年度自主制作番組 実績
- ※資料2 【放送概要】

## 5 審議内容

### <倉敷市>

#### <大原美術館史～受け継がれる大原DNA>

・大原美術館創立 90 周年特別番組として、「共にまちを創る～倉敷市の礎を築いた近代建築家#1 薬師寺主計」とともに、世界に誇る大原美術館の歴史を、異なる切り口で深掘りした、見ごたえのある番組である。同館を紹介する番組で、児島虎次郎は絵画の収集において触れることが多いが、画家としての児島虎次郎についてもあらためて知ることができるものであった。コロナ禍で遠出が困難な現在、ふるさとのすばらしさを見つめ直すのにふさわしい番組であり、より多くの市民に見てもらえるよう、再放送などが望まれる。

#### <共にまちを創る～倉敷市の礎を築いた近代建築家#1 薬師寺主計>

・ドローンによる撮影とともに、倉敷のまちを撮りつくしている地元ケーブルテレビならではの撮影アングルが随所に感じられ、旧中国銀行のタイムラプスの映像も美しく、深く印象に残る。普段何気なく目にしている建築物や意匠に込められた建築家の情熱を知ることができ、私たちがいかに恵まれた環境にあるか、こちらもまたふるさつを見つめ直す番組として再放送などが望まれる。

#### <その他、番組全体についてのご意見・ご要望>

・新型コロナに関して、地元ケーブルテレビならではの、記者会見生中継やニュース内容は、最も身近な情報源として多くの市民が注目したと考える。

### <玉野市>

#### <大原美術館史～受け継がれる大原DNA～>

・若い世代の芸術家を育成するなど、過去から未来に向けて受け継がれていく大原美術の歴史が、わかりやすく構成されており、大変興味深く拝見いたしました。

#### <共にまちを創る～倉敷市の礎を築いた近代建築家#1 薬師寺主計>

・大原美術館を代表とする倉敷美観地区の近代建築の歴史について、薬師寺主計という一人の建築家をとおして学ぶことができました。今回、この番組を拝見したことで、今後、美観地区を散策する機会には、また違った見え方がするのだろうと感じております。

#### <その他、番組全体についてのご意見・ご要望>

・今後とも、玉野市の情報発信にご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

### <総社市>

#### <大原美術館史～受け継がれる大原DNA～>

・倉敷・岡山に興味を持ち、来てもらえるような優れた PR 番組で、倉敷の歴史に関する学習教材としても使用できると思います。作品の紹介者が台本を読んでいるのがよく分かってしまったので、もう少し自分の言葉で話してもらえると、内容が視聴者の頭の中に入っていくやすいと思います。

<共にまちを創る～倉敷市の礎を築いた近代建築家#1 薬師寺主計>

・倉敷を訪れ、建物を訪れたくなる内容で、なかなか入れない建物の内部を見られるもの貴重だと思います。薬師寺主計の生い立ちや功績を詳しく紹介し、建築物を紹介した後に対談があった方がよいのではないかと思います。対談の場面に移る際には、毎回対談者のテロップを差し込んで欲しいです。

<その他、番組全体についてのご意見・ご要望>

なし

<倉敷市教育委員会>

<大原美術館史～受け継がれる大原DNA～>

・大原美術館史を拝見して、大原孫三郎氏、大原總一郎氏、大原謙一郎氏と脈々と受け継がれてきた美術館建設と倉敷のまちに対する深く熱い思いが伝わってきました。謙一郎氏は番組の中で商人の魂として「暖簾の信用を守る」ということ、また「新しいものをクリエイトしていく」と述べられていましたが、その意気込み、情熱に大変感銘を受けました。

・倉敷市内の小学校では、4年生の社会科で「倉敷の発展に尽くした大原孫三郎」という単元名で大原美術館や大原孫三郎の業績について学習しますが、こうした番組を参考にさせていただきながら、孫三郎の思いを、子どもたちが引き継げるよう取り組んでまいりたいと思います。

<共にまちを創る～倉敷市の礎を築いた近代建築家#1 薬師寺主計>

・薬師寺主計が大原孫三郎らとともに、当時では斬新な建物をいろいろと設計・建築し、それが今日の倉敷の町並みを形作っていること、また、将来あるべき姿を見据えて、しかも人々が過ごしやすい町を考えて、倉敷の町の発展のため、この仕事に携わってきたことがよくまとめられていました。

・ノートルダム清心女子大学の上田恭嗣名誉教授の説明が大変わかりやすく、学生とのインタビュー形式で解説をされていた点もよかったですと思います。

・普段何気なく通り過ぎている町並みを、少し足を止めて眺めてみたいと感じさせるような番組であったと思います。

<その他、番組全体についてのご意見・ご要望>

特にありません。

<倉敷商工会議所>

・欠席

<玉野商工会議所>

<大原美術館史～受け継がれる大原DNA～>

・大原美術館の歴史、背景を知る機会には実際に美術館を巡るよりも番組を通して観たほ

うが分かりやすく感じました。次回美術館を訪れた際には、絵画をより深く見ることができると思います。

#### <共にまちを創る～倉敷の礎を築いた近代建築家 #1薬師寺主計>

・大原孫三郎、薬師寺主計が、倉敷の発展を夢見て、美観地区にある様々な建造物を建築していったことが良く分かりました。自社のみならず倉敷の「まちの発展」を第一に考えた人物は稀有ではないかと感じました。

・普段、美観地区の建物について外観は見て歩きますが、実際に建物内を見て廻る機会は少ないと思います。番組を通じてその土地の礎を築いた人物を知るといった試みは有意義だと感じました。

#### <その他、番組全体についてのご意見・ご要望>

・地元の学生さんを交えて感想を聞きながらの番組構成は良いと思います。御社は、倉敷市をはじめ広域で放送されておられますので、倉敷以外にも児島や玉野市でも地域の発展に貢献した人物にスポットを当てた番組制作をお願いしたい。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の企業は大きな影響を受けております。地元企業の先進的な取組みや商品、飲食店のPRにも引き続き取り組んでいただきたいと存じます。

#### <児島商工会議所>

##### <大原美術館史～受け継がれる大原 DNA～>

・番組を興味深く拝見しました。歴史的な観点と芸術的な観点と、人間関係との構成がうまく組み込まれ、見やすく作られており、あらためて大原美術館の歴史について再発見することができました。時代背景を通して、多くの困難と先を見る人の力その時代時代のそれぞれが熟考する姿が思い浮かばれるようでした。多くの方にみていただき、特に若い世代に見ていただき、大原美術館をあらためて訪れるきっかけとなれば、と思いますし、内容的にも、次の世代へ受け継がれていくべきものであると感じました。

##### <共にまちを創る～倉敷の礎を築いた近代建築家 #1 薬師寺主計>

・薬師寺主計については、あまりまだなじみがなかったのですが、今回の番組を拝見し大原孫三郎との関係やその人となり、西洋の近代建築を自身の郷土にもたらした熱い思いが伝わり、大変おもしろく、興味深く視聴しました。

倉敷のまちをいかに築き後世に残していくか、自身の役割りと責任が伝わってくるように感じました。建築様式や細かい細工・工芸などいずれも一流の方が携わってできた建物ということで、次回訪れた時には、そういった細かい部分をきちんと見てみようという気持ちになりました。若い方にも是非見ていただきたい番組です。

#### <その他、番組全体についてのご意見・ご要望>

・今回の番組のように、あらためて拝見すると、認識しているようで、まだまだ知らなかったことが多いということも痛感しました。また、大原家では、「くらしきコンサー

ト」など、昨年で惜しまれながら事業を終えたものなどもあり、こういったものの歴史も次回には取り上げていただきたいと思います。

倉敷ケーブルテレビ様には、「倉敷の良さ」「住みたい倉敷」「倉敷の歴史」など、いろいろな角度から地元を発信していただきたいと思います。

ありがとうございました。

#### <総社商工会議所>

<大原美術館史～受け継がれる大原 DNA～>

- ・大原氏の倉敷市への貢献がよくわかる番組でした。

<共にまちを創る～倉敷市の礎を築いた近代建築家#1 薬師寺主計>

・薬師寺氏のアールデコ建築は以前からよく知っていましたが、改めてその建築が倉敷市に残っていることがわかる番組であり、うれしく思いました。

<その他、番組全体についてのご意見・ご要望>

- ・なし

#### <倉敷青年会議所>

<大原美術館史～受け継がれる大原 DNA～>

・当時倉敷のまちの発展を考えた大原家の考えがわかる番組だったと感じます。大原美術館に残る日本作家の作品を取り上げていることは良いことだと感じます。ただ当時の時代背景の説明が少し少ないように感じます。ほかの地域でこのような自分たちのまちの発展に寄与した人物はいなかったのでしょうか。大原家が現在の公益性を考えた発展的な考えを持っていたということは素晴らしいことですが、この面が強調されることだけでは、視聴者に大原家を特別な存在としてとらえてしまい、身近な存在として受け入れにくいのではないかと感じました。

<共にまちを創る～倉敷市の礎を築いた近代建築家#1 薬師寺主計>

・大原家だけでなく、当時はその考えに賛同してまちづくりを行った方がいたと考えられる内容でした。より視聴者に訴える場面があるとすれば協働や共助という面が尊重する現在においては、当時生きた人々をより多く登場させなければ偉人たちのみがまちづくりを行ってきたように感じてしまいます。地元の偉人を讃歌して番組を作ることで地元愛に繋がることは重要事ですが、今を生きる視聴者には番組を見た後で自分なりに考える部分を残す番組作りは必要だと感じました。

<その他、番組全体についてのご意見・ご要望>

・番組内容も地域に根差したものが多いと感じますので、地元のケーブルテレビとしてローカル情報の発信に尽力していただければと感じます。

## <児島青年会議所>

### <大原美術館史～受け継がれる大原 DNA～>

・芸術やアートが社会や次の世代に与える影響力を信じしていた大原孫三郎氏と、同じ思いを持った児島虎次郎氏の特別な関係を、この度の番組を見て初めて詳しく知ることができました。また、大原總一郎氏から謙一郎氏へとその思いが受け継がれて、地域住民のみならず、倉敷の地へ訪れる人たちに対しても、文化に接する機会を提供しようと使命を持たれていることも大変勉強になりました。「美術は生きて成長していく」というフレーズが心に残りましたし、これからも大原美術館が多くの方々に対して開かれ、創始の精神が受け継がれればと思いました。

番組の視聴対象者は、中高生以降かと思います。地元に住む子供たちにもぜひ見ていただいて、先人の地域の発展を願う思いを醸成して頂ければと思いました。

### <共にまちを創る倉敷の礎を築いた近代建築家#薬師寺主計>

・大原美術館をつくるに至った経緯も先の番組で見させていただいておりましたので、大原孫三郎氏の並々ならぬ思いを汲んで、薬師寺主計氏も設計されたことがよくわかりました。昭和5年という時代に、西洋建築の技法を組み込み、さらには関東大震災の教訓も活かして建てられということで、建築家としての社会的役割を見たように思います。さらには、事業で得られた富を地域のために生かしていこうとする大原孫三郎氏の思いが薬師寺氏の建築デザインに込められていたことがよくわかり大変勉強になりました。

今の倉敷中心部の穏やかな生活の礎があることを、多くの方々に知っていただきたいと思いましたが、公のために尽くしていく姿も、こんな時代だからこそ、若い世代の方にも、私共の世代の方にも見ていただきたいと思いました。

素晴らしい番組をありがとうございました。

## 6 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 倉敷ケーブルテレビホームページ

公表の内容 審議内容抜粋

公表年月日 令和3年4月20日(月)～